

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	みやき町立北茂安中学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・「1日当たりのゲーム、SNS利用に費やす時間が2時間以下」と答えた生徒は55%と前年度より改善しているが、「毎日1時間30分以上の家庭学習を行っているか」の調査結果は1月調査で51%で改善が必要である。今年度、校内研修で検査結果をもとに学習意欲を高めるために授業の受ける心構えや家庭学習に取り組むための計画の立て方など講師を招き生徒、教職員ともに学んできた。今後も生徒一人一人、個に応じた学習方法について改善を進めていく。</p> <p>・本校目標に沿って授業、学校行事、部活動にと出番、役割をつくり夢や目標に向かってチャレンジすることを支援し、将来を見通し学校生活を送るためにキャリア教育の充実について重点的に取り組む必要がある。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	夢や目夢をもち、チャレンジ精神と思いやりの心に満ちあふれた生徒の育成
----------	------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 体験活動をおとして望ましい人間関係づくりを進め、人間関係形成能力を育成する。 ② 学ぶ意欲、学び方、学習習慣の育成と基礎・基本の定着を図り、学力の向上をめざす。 ③ 総合的な学習の時間における課題解決学習をおとして、主体的に学ぶ態度を育成する。(学びの土台づくり) ④ キャリア教育により自己の生き方を考えさせ、キャリアプランニング能力を育成する。(自己実現の土台づくり) ⑤ 安心安全で生徒が明るく活動できる環境を作る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「家庭学習を毎日1時間半以上している」について肯定的な回答をした生徒60%以上 ○「毎日の授業に向上心を持って積極的にチャレンジしていると思う」について肯定的な回答をした生徒85%以上	・校内研究を通して生徒理解を深める。 ①「北っ子学習三か条」を軸とした授業 ②「授業づくりのステップ1.2.3」を踏まえた授業展開 ③AAI検査等の結果を活用した生徒理解 ・「児童生徒の学力向上対策4つの取組」リーフレットを踏まえ、生徒指導の機能を生かした授業づくりを進める。 ・QU検査を活用し「自己肯定感」が持てない生徒を確認し、学級・学校行事への参加を促し、称揚を行う場を設定する。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○道徳の授業が役に立っているという生徒80%以上 ○学校がいじめ防止に取り組んでいると思う生徒90%以上 ○今までより思いやりのある言動ができたと思う生徒80%以上	・道徳科では、チームティーチングやローテーション道徳などを取り入れ指導方法を工夫改善しながら生徒の心に響く授業を行う。 ・隔週でアンケートを行い、生徒の抱える課題を早期に発見し、解消・改善に向けて組織的かつ速やかに対応する。 ・法に基づくいじめの定義を生徒、職員が理解し組織的に対応する。また、新生徒指導提要等を活用し生徒理解について職員研修を行う。 ・機会をとらえ自己有用感・自己肯定感を育み、自他ともに大切に育てる生徒の育成に努める。
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ○安全に関する資質・能力の育成	○日頃からバランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思うと答えた生徒80%以上 ○1日当たりのゲーム、SNS利用に費やす時間が2時間以上と答えた生徒50%未満 ○児童生徒の交通事故発生件数を前年度以下	・望ましい食習慣や生活習慣の形成に向けて授業や保健指導を行い、健康増進に向けて意識の向上を図る。 ・保健だよりの発行、掲示物の充実。 ・SNSの弊害の説明だけでなく生活習慣を見直し、睡眠の重要性や、時間の使い方について学び、個に応じた家庭学習の方法について考えさせる機会をつくる。 ・生徒会による交通安全教室の実施。 ・毎月1日、20日登校時の交通指導の実施。 ・交通安全県民運動期間に合わせた交通指導の実施。 ・定期的な自転車点検の実施。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・校務シェアボード等を有効に活用し、職員連絡会や会議時間の短縮を図る。 ・定時退勤日を原則月曜日に定め、部活動休養日の適正履行。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○教職員の資質・能力の向上	○教職員の経験や役割に応じた資質・能力の向上	○自分の資質・能力が向上したと思う教職員80%以上	・教育センター研修受講奨励、研究会への参加を奨励する。 ・校内研究を軸に生徒の実態に即した学習スキルの定着を図る。 ・校務分掌を通して、職員同士が互いに支え合い、学び合う組織風土を醸成する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育